

土砂災害は、大雨や地震が引き金となって起こり、土石流やがけ崩れ、地すべりなどの現象があります。これらは風水害と違い予測が難しく、繰り返し起こる特徴があります。本年4月に各家庭にお配りした洪水・土砂災害ハザードマップには土砂災害警戒区域などが示されています。急傾斜地や裏山など危険箇所を確認し普段と違う現象が起きた時は早く避難することが大切です。土砂災害の前兆やがけ崩れなどを発見した場合は、安曇野市役所か関係機関、最寄りの消防署へ連絡してください。

日ごろから風水害や土砂災害から身を守るためにどんな場所が危険であるかを知り、災害に備えましょう。



予測が難しい  
土砂災害

## 土砂災害の種類と前兆現象



### 1 土石流

谷間に堆積した土砂等が増水した水とともに流れ落ちる災害。

- ・山鳴り、立ち木の裂ける音が聞こえる。
- ・雨が降り続く中、川の水位が下がる



### 2 がけ崩れ

傾斜が急な斜面から土砂が崩れ落ちる災害。

- ・がけに亀裂が入る。
- ・がけからの水が濁る。
- ・がけから小石が落ちてくる。



### 3 地すべり

粘土等の滑りやすい層を境に地面全体が滑り出す災害。

- ・地面にひび割れが起きる。
- ・斜面から水が噴出す。
- ・家や擁壁に亀裂が入る。



ハザードマップで危険箇所を再確認しましょう。

## 災害の徴候や災害が発生した場合の連絡先

☎各総合支所  
または堀金総合支所内危機管理室  
(TEL72・6769 FAX72・6739)

☎豊科総合支所内  
監理課 (TEL72・3111 FAX72・3569)  
建設課 (TEL72・3111 FAX72・8340)

☎長野県安曇野建設事務所 (TEL72・8880 FAX72・8882)  
(豊科・穂高・三郷・堀金地域)

☎長野県犀川砂防事務所 (TEL62・3257 FAX62・2015)  
(明科地域)

☎松本広域消防局  
豊科消防署 (TEL72・3145)  
穂高消防署 (TEL82・3262)  
梓川消防署 (TEL78・2090)  
明科消防署 (TEL62・2992)

# 風水害・土砂災害に備えましょう。

◎災害に備えて

9月から10月までは、秋の長雨や台風により、土砂崩れやがけ崩れ、家屋への浸水などによる被害が予想されます。地震だけでなく風水害・土砂災害に日ごろから備えましょう。  
(写真 平成18年7月豪雨時の明科地域の犀川)

過去から学び  
日ごろの備えを

本年9月、日本を襲った台風12号は西日本を中心に甚大な被害を与えました。私たちが住む安曇野市も、周囲を山に囲まれ、市内を犀川や高瀬川などの河川が流れており、過去には大きな風水害・土砂災害の被害を受けています。(上記写真参照)人ごとではなく、地震への備えと共に日ごろからこうした災害への備えをしておくことが必要です。

風水害に対しては  
気象情報に注意を

風水害は、気象情報などからある程度予測し、前もって行動することが出来ます。市内に大雨注意報・大雨警報などが発令された場合は注意してください。



防災行政無線戸別受信機

い。避難が必要な場合は市から防災行政無線などでお知らせします。防災行政無線の戸別受信機については最寄りの各総合支所地域支援課へお問い合わせください。

万一に備え、非常持出品の準備と、避難場所や避難路について家族と話し合っておくことが大切です。

また、最近では局地的な豪雨などによる小河川の氾濫などもあります。自宅周囲の河川の状況や地形についても確認しておきましょう。